

第7回西条市・東予市・丹原町・小松町合併協議会

新市名候補選定小委員会

日時：平成15年 7月16日(水)午後1時30分

場所：西条市役所 5階大会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 審議事項

新市の名称候補第2次選定について

3 その他

(1) 第8回小委員会の開催日程について

4 閉会

出席委員

井上 豊實	荃田 元近	徳永 英光	佐伯 出
瀬川 政子	山内 サダ子	服部 和子	有馬 馨

発言者	議題・発言内容
真鍋局長	<p>委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから西条市・東予市・丹原町・小松町合併協議会新市名候補選定小委員会の第7回会議を開会いたします。</p> <p>なお、本日の小委員会は、通常の協議会同様に一般の方の傍聴、報道関係者、また行政関係者も同室しておりますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>会議の開催につきましては、小委員会規程第5条第2項によりまして、半数以上の出席が必要ということでございますが、本日は委員全員の方がご出席でございますので、会議が成立しておりますことを、まずご報告申し上げます。</p> <p>それでは、ただいまから議事に入りたいと思いますが、小委員会の議長は、新市名候補選定小委員会規程第5条第3項の規定によりまして委員長が務めることとなっておりますので、議長を委員長にお願いいたします。それでは、委員長、よろしくをお願いいたします。</p>
井上議長	<p>どうも、皆さん、こんにちは。</p> <p>ただいま真鍋局長よりのごあいさつの中にもございましたが、皆さん方には何かとご多様の中を、第7回新市名選定小委員会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>本日、ご審議をいただきます案件は、新市の名称候補の第2次選定をお願いをするようでございます。会議次第に沿って会議を進めてまいりたいと思いますので、よろしくをお願い申し上げます。</p> <p>それでは、早速でございますが、会議次第2、議事に入らせていただきます。</p>

発言者	議題・発言内容
井上議長	<p>審議事項 の「新市の名称候補第2次選定について」を議題といたします。これにつきましては、先般第1次選定といたしまして、この小委員会の委員の皆さん方に公募した名称の中より自宅で10作品以内を選定をしていただきました。その集計が、本日第1次選定結果として付属資料に明記をされております。</p> <p>まず、第1次選定結果について事務局より説明を願います。</p>
総務班戸田	議長。
井上議長	はい、事務局。
総務班戸田	<p>審議事項 「新市の名称候補第2次選定について」に関連いたしまして、新市名候補第1次選定結果についてご説明申し上げます。</p> <p>付属資料の1ページをご覧ください。</p> <p>第1次選定結果一覧表というのを掲げてございます。まず、第1次選定としまして、委員の皆様がご自宅で10作品以内を選定され、事務局に提出された名称候補を取りまとめたものとなっております。一覧表には、上から番号、新市の名称、名称のふりがな、応募数、選定委員数、委員の選定理由を明記しております。この項目の中で、選定委員数というのがございますが、この選定委員数と申しますのは、第1次選定で同じ新市の名称候補を選定された委員数を表示しております。例えば、石鎚市で申しますと、選定された委員の方が8名中7名おられたということになります。また、選定理由ですが、重複している選定理由もありましたので、事務局にて委員の選定理由を整理、取りまとめたものとなっております。</p>

発言者	議題・発言内容
総務班戸田	<p data-bbox="467 282 1375 524">第1次選定の結果、委員の方が選定をされた新市の名称候補は、延べ総数で54名称、重複して選定された名称がございます関係で、資料に明記しております18種類となっております。なお、新市の名称候補は、一覧表では50音順で表記しております。</p> <p data-bbox="467 562 1375 667">それでは、第1次選定で選定されました、各新市名候補についてご説明申し上げます。</p> <p data-bbox="467 705 1375 1503">まず、番号1、新市の名称、石鎚市。応募数2,739。選定委員数7名。選定理由、地理的にイメージでき、応募結果から地域住民の理想や願いにちなんでいる。また、対外的にアピールできる名称であり、知名度の向上も期待でき、ほぼすべての選定基準に適合しているが、歴史、文化、特徴を表すにはやや弱い感がある。西日本最高峰の石鎚山からその所在が全国的にイメージしやすい新鮮味のある名称である。すべての選定基準に該当し、応募数が多かったから。名山(関西以西最高峰)としての知名度があるから。「石鎚」という名称は、明治初期の廃藩置県後、愛媛県が設置されるまでの編成の中でも、「四国第一の峻岳霊地」であり、「管内の中央」にある石鎚山(現石鎚山)の名称を取り「石鎚県」が使われており、歴史的にも由来がある。</p> <p data-bbox="467 1541 1375 1854">番号2、ひらがなでいしづち市。応募数1,001。選定委員数3名。子供から大人まで地名をかきやすいひらがなの名称であるから。名山(関西以西最高峰)としての知名度がある名称「石鎚」をひらがな表記としているから。地域が地理的にイメージでき、対外的にアピールできる名称である。</p> <p data-bbox="467 1892 1375 1998">番号3、伊予西条市。応募数170。選定委員数2名。地理的にイメージでき、歴史、文化、特徴を表し、地域住民の理想や願いに</p>

発言者	議題・発言内容
総務班戸田	<p>ちなみ、対外的にアピール、知名度の向上も期待でき、すべての選定基準に一応適合すると思われる。県名がなくても、全国的に所在をイメージでき、しかも由緒ある名称である。</p> <p>番号4、ひらがなでえひめ市。応募数66。選定委員数1名。地理的にイメージでき、歴史、文化、特徴を表し、地域住民の理想や願いにちなみ、対外的にアピール、知名度の向上も期待でき、すべての選定基準に一応適合すると思われる。</p> <p>番号5、西条市。応募数1万8,061。選定委員数8名。地理的にイメージでき、歴史、文化、特徴を表し、応募結果から地域住民の理想や願いにちなんでいる。また、対外的にアピールできる名称であり、知名度の向上も期待でき、すべての選定基準に適合し最もふさわしい。江戸時代から歴史的にもよく知られた由緒ある地名であり、永年親しんできた、かえがたい名称である。全国的に地名度が高く、住民の意思を尊重。すべての選定基準に該当し、応募数が最も多かったから。2市2町の合併における最もわかり易く親しみやすい為。「西条まつり」などの名前が全国でもある程度知られている。</p> <p>番号6、西條市。応募数309。選定委員数1。地域の歴史、文化を表し、地域住民の理想と願いにちなんだ名称であるから。</p> <p>番号7、ひらがなでさいじょう市。応募数136。選定委員数2。子供から大人まで地名をかきやすいひらがなの名称であるから。2市2町の合併における最もわかり易く親しみやすい名称である「西条」をひらがな表記としているから。</p> <p>番号8、西東市。応募数51。選定委員数1名。地域の歴史、文化、特徴を表し、地域住民の理想や願いにちなんだ名称である。</p>

発言者	議題・発言内容
総務班戸田	<p>地理的なイメージ、対外的アピール、知名度の向上は期待できない。</p> <p>番号 9、新西条市。応募数 95。選定委員数 1 名。すべての選定基準に該当し、応募数が多かったから。</p> <p>番号 10、水都西条市。応募数 19。選定委員数 1 名。対外的にアピールできる名称である。</p> <p>番号 11、水都市。応募数 281。選定委員数 4 名。地理的にイメージでき、地域住民の理想や願いにちなんでいる。対外的にアピールできる名称であるが、地域の知名度が向上するとは考えにくい。また、地域の歴史、文化、特徴を表すとは言えない。すべての選定基準に該当し、応募数が多かったから。2市2町とも海、川、地下水など水に恵まれた地域であり、水の都としてふさわしい名称である。</p> <p>番号 12、瀬戸内市。応募数 90。選定委員数 5 名。地域が地理的にイメージでき、対外的にアピールできる名称である。地名を聞くと場所がイメージでき、呼びやすい名称である。すべての選定基準に該当し、応募数が多かったから。瀬戸内海は国立公園として指定されており、全国的にも有名な名称であるため、全国でも通用する名称である。</p> <p>番号 13、東予市。応募数 161。選定委員数 3 名。地理的なイメージ、地域住民の理想や願い、対外的なアピール、知名度の向上も期待でき、ほぼすべての選定基準に一応適合しているが、歴史、文化、特徴を表すとは言い難い。すべての選定基準に該当し、応募数が多かったから。合併後、第 2 の県都として東予地域の中心となる市としてふさわしい名称である。</p>

発言者	議題・発言内容
総務班戸田	<p>番号 14、ひらがなでとうよ市。応募数 31。選定委員数 1 名。子供から大人まで地名をかきやすいひらがなの名称であるから。</p> <p>番号 15、道前市。応募数 531。選定委員数 6 名。地理的にイメージでき、応募結果から、地域住民の理想や願いにちなんでいる。また、対外的にアピールできる名称であり、知名度の向上も期待でき、ほぼすべての選定基準に適合しているが、歴史、文化、特徴を表すとは言い難い。伊予の道後と相対する道前地方をアピールするフレッシュな名称である。すべての選定基準に該当し、応募数が多かったから。この地域は、県都松山のある道後にまさるとも劣らない「道前平野」という恵まれたエリアで、第 2 の県都を目指すためにふさわしい名称である。</p> <p>番号 16、燧市。応募数 32。選定委員数 1 名。瀬戸内海沿岸でも他には見られない波静かな「燧灘」に面しており、その恵みを受けているため。</p> <p>番号 17、ひらがなでひうち市。応募数 427。選定委員数 6 名。地域が地理的にイメージされ、対外的なアピールもあり、地域の知名度が向上できるが、地域住民の理想や願いにちなんだ名称とは言い難い。また地域の歴史、文化、特徴を表すとは言えない。すべての選定基準に該当し、応募数が多かったから。地図上で位置確認し易いから。瀬戸内海沿岸でも他には見られない波静かな「燧灘」に面しており、その恵みを受けているため。</p> <p>番号 18、ひらがなでひうちなだ市。応募数 54。選定委員数 1 名。子供から大人まで地名をかきやすいひらがなの名称であるから。</p> <p>以上でございます。</p>

発言者	議題・発言内容
井上議長	<p>ただいま事務局から第1次選定結果につきまして説明がございましたが、何かお尋ねすることがございますれば、お尋ねをしていただいたらと思いますが、会議資料の2ページの参考にもございますように、第2次選定は、「第1次選定により選定された作品の中から、委員の協議又は投票により、10作品程度を選定する」となっております。</p> <p>第1次選定で18作品となっておりますので、この中から10作品程度をこの小委員会で、まず協議により選定をしていただきたいと思っておりますので、どなたからでも発言をお願いいたします。</p>
荃田委員	はい。
井上議長	荃田委員。
荃田委員	<p>これ、投票数がここへずっと書いてありますが、これはもう2市2町の市民、町民の総意だと思うんです。だから、その10作品については、この投票数の多い順から10作品を僕は選んだのが一番公平なんじゃないかなという気がいたします。</p>
井上議員	ほか、何かご意見ございませんか。瀬川委員どうぞ。
瀬川委員	荃田委員に同じです。
井上議長	山内委員さんも。

発言者	議題・発言内容
山内委員	横に選定の委員の数も並行して右左見ていたら、大体似たりよったりでございますね。やっぱりその意見で結構です。
井上議長	服部委員さんも。
服部委員	私も同様です。
井上議長	有馬委員さん。
有馬委員	私も同じです。
井上議長	徳永委員。
徳永委員	同じです。
井上議長	佐伯委員さんも。
佐伯委員	はい。
井上議長	本当は、この第1次選定で、作品が多くて、1,858の中から、皆さん自身で投票、投票と同じような形になっておると思います。だから、今回投票しても、今度は18の作品でございますが、投票したと同じような形で、やっぱり皆さんのご意向が反映されておると思いますね、投票の多い順に。そういうことにさせていただいてようございますか。

発言者	議題・発言内容
	(「異議なし」の声あり)
井上議長	<p>では、そのようにさせていただきます。</p> <p>もう順番に上からちょっと取ってみて。ちょうどおかげなことに、この1のはずしたら10作品あるのよ。1人のを外したら、全部。</p>
徳永委員	<p>全部100以上ということですね。</p>
井上議長	<p>2以上になったら、10ある。1だけ外したらちょうど10。</p>
徳永委員	<p>だから、1のも西條市が309あるんよ。</p>
井上議長	<p>こっちの応募数かね。</p>
徳永委員	<p>応募数で、だから今言っているのは100以上取ったら10あるからちょうどいいんじゃないの。</p> <p>荃田さんが言ったように、応募数で、多いところから取っていったら。ちょうど100以上が10あるでしょ。</p> <p>ちょっとこれでいくと、委員の選んでいる5というのは瀬戸内市というのが5人。</p>
井上議長	<p>瀬戸内というのが5人おるが、これが90しかない。これだけ外れる。</p>
荃田委員	<p>それはかまわん。</p>

発言者	議題・発言内容
徳永委員	そしたら、10じゃなくても、10程度やから11にしてもいいんじゃないですか。
荃田委員	構わんのよ。これ、小委員会を決めるようになっておるんだから、ここで決めるんだから、それは何ぼあろうとやね、それはここで決定したらそれでいいと思う。
井上議長	それでは、そのようにさせていただきます。 それでは、そっちでちょっと書いてくれる。上から応募数の多い順。
荃田委員	これが一番きれい。みんなが入れたのが魂がこもっているから。
徳永委員	それに、やっぱり民意の反映ということにしておかないと。
井上議長	選定理由を見ても、やっぱり住民の希望や願望というものが3が一番多い。この第1次の何を見ても。そうすると、やっぱり住民のご意向を大事にせんといけないと思う。
荃田委員	最終的には29名の投票になっているわけだから、それはもうそこで決定したことにおいては、これはもう異議はない。それまでのことでは喧々諤々と意見というのは出していかざったら。
佐伯委員	西条市の名前がいろいろ四つかそこら固まって。

発言者	議題・発言内容
井上議長	それはおるけどね。
茎田委員	かまわん、それは。それはみんな入れた人がおるのだから。
徳永委員	入れた人はおるけども、そうじゃという。 西條いうたら昔の字じゃろ。お年寄りが書いとると思う。
茎田委員	子供が書いてるやわかるまい。
井上議長	今度もまた半分にせないかんのやけど、そのときにまた考慮して。 とりあえずはこういうことで。これが一番、正当な選び方ですね。
茎田委員	委員長ね、それは5つになってもそういう説でいかざったらいかんのです。最終的に投票になったら、銘々が勝手に入れるんだから、それが決まったことが決定だと思うけど、それまではある程度外向いても、内向いても、はっきり説明がつくようにはしておかなかつたら、それは僕らも市民の代表で来ているわけだから、あのときこうだったということにはならんようにしていかないと。
総務班戸田	議長。
井上議長	はい。
総務班戸田	応募数の多い順に10作品を発表します。 上から番号順に申し上げます。まず番号1、石鎚市。番号2、ひ

発言者	議題・発言内容
総務班戸田	<p>らがなでいしづち市。3番、伊予西条市。5番の西条市。6番の西条市。7番のひらがなでさいじょう市。11番の水都市。13番の東予市。15番の道前市。17番のひらがなでひうち市となっております。</p>
井上議長	<p>今、事務局から発表がございましたとおりでございます。これにご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p>
井上議長	<p>それでは、そのように決定をさせていただきたいと存じます。</p> <p>以上で、第2次選定の作業は終了いたしました。本当にご協力ありがとうございました。</p> <p>以上で、本日の議題はすべて終了いたしました。</p> <p>本日の会議結果につきましては、次回の第9回合併協議会において私の方から報告をさせていただきたいと考えておりますが、内容につきましては、私の方にご一任をいただいたらと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p>
井上議長	<p>ご異議がないようでございますので、ご了承いただいたものといたします。</p> <p>それでは、委員の皆様のご協力に感謝を申し上げまして、議長の職を解かせていただきます。本当にご協力ありがとうございました。</p>

発言者	議題・発言内容
真鍋局長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の3になりますが、「第8回小委員会の開催日程について」、ご報告をさせていただきます。</p> <p>恐れ入りますが、会議資料の3ページをご覧ください。</p> <p>第8回小委員会の開催でございますが、第8回小委員会は、新市名候補の最終選定を行う重要な小委員会となりますことから、委員全員の出席を賜りたいと考えております。</p> <p>8月上旬に小松町議会議員選挙がございます関係上、事務局といたしましては9月中旬から10月上旬を予定しておりましたが、9月中旬から10月上旬となりますと約2ヶ月間以上小委員会が開催されないこととなります。</p> <p>もし、委員の方々がよろしければ、8月下旬ごろに小委員会を開催してはどうかと考えておりますので、次回小委員会の日程につきまして、本日、日程調整をお願い申し上げたいと思います。</p> <p>委員の皆様、いかがでございましょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p>
井上委員長	<p>異議ないです。</p>
真鍋局長	<p>それでは、次回の小委員会、8月下旬ということで、詳細な日程、場所につきましては、事務局で調整後、お知らせをいたしたいと思います。日程の方はまだちょっと。</p>
徳永委員	<p>日を決めんぞや、もうここで。皆ここに来ているのに。事務局で</p>

発言者	議題・発言内容
徳永委員	うろうろせんでも。
荃田委員	<p>だけども、ちょっと待って。8月下旬だったら、10日間の中でやるんだったら、そこへ入ってきたらいろいろなことがあるから、ちょっとやっぱり時間を、7月いっぱいぐらい置いてもらわなかったら、8月の末だったら、まだ1ヶ月以上ある。そしたら、皆、せわしいなる。</p>
徳永委員	そしたら、また相談しないといけない。
荃田委員	<p>相談は、そのときには相談せんでもそれは乗り切れるよ。でも、今から決めたいうたら、あんたら、わしら、ついぼんと入ってきたら、どっちが大事じゃいうことは、今度の大事な会合を置いておいて、研修に行くというわけにはいかんから。</p> <p>一番大事なときだから、やっぱり全員がおって、気持ちよく名前つけていかざったら。</p>
井上委員長	皆さんに差し障りのないように、また相談してやってください。
真鍋局長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、最後、8月下旬ごろに開催するということで、詳細な日時、場所につきましては、事務局で調整後、お知らせをいたします。</p> <p>それではこれもちまして、第7回会議を終了させていただきたいと思います。大変ありがとうございました。お気をつけてお帰り</p>

発言者	議題・発言内容
	ください。